

5. 指定施設指定委員会・指導医選定委員会

委員長 前田 耕太郎

1. 平成 23 年度指定施設指定業務について

本年度も7月中に雑誌ならびにホームページを通じ、指定施設および関連施設の申請手続きを行うように、オンラインを介して通知した。また、指定期間中の指定施設に対しては、同様にオンラインを介して年次報告を行うように通知した。8月31日に申請を締め切ったところ、指定施設として1,050施設、関連施設として891施設の申請があった。

所定の手続きを経て、11月15日に委員会を開催し、指定施設基準に準拠して慎重かつ公正に審議を行ったところ、指定施設として申請されたが条件を満たさなかった6施設を関連施設として指定し、関連施設として申請されたが条件を満たさなかった10施設を不可と判定した。結果、指定施設として1,044施設、関連施設として887施設を指定した。指定施設の指定期間は平成24年1月1日から平成26年12月末日まで、関連施設の指定期間は平成24年1月1日から同年12月末日までである。なお、この結果は理事会で承認されたので、雑誌第113巻第1号に公表し、それぞれ社団法人日本外科学会外科専門医制度修練施設証、外科専門医制度関連施設証を交付して、各施設長宛に送付した。

したがって、現指定施設数1,246施設、現関連施設数893施設である(平成23年1月25日現在；条件を満たせば、指定施設から関連施設への移行は随時認めている)。

本年12月末日で指定期限切れとなる施設に対しては、7月中に文書および雑誌ならびにホームページなどを通じて、指定施設もしくは関連施設の更新手続きを行うよう通知する予定である。同じく、指定期間中の指定施設に対しては、年次報告を行うよう通知する予定である。

2. 平成 23 年度指導医選定業務について

8月1日に申請を締め切ったところ、334名からの申請があった。このうち、所定の申請書を提出しなかった者が3名であった。したがって、審査対象者は331名であった。

所定の手続きを経て、11月15日に委員会を開催し、慎重かつ公正に審議を行った結果、業績の条件を満たしていなかった4名と修練施設勤務期間が不足していた10名を不合格とし、317名を合格と判定した。この結果は理事会で承認されたので、合格者氏名は雑誌第113巻第1号に公表した。

3. 平成 23 年度指導医更新選定業務について

例年通り取得から5年が経過した指導医の更新選定業務を行った。本年度の対象者は平成18年度に新規選定により取得、または更新選定により取得した1,156名であった。選定申請と同じく8月1日に申請を締め切ったところ、827名からの申請があった。このうち46名がオンラインによる申請登録は行ったが、申請書そのものを提出しなかった。したがって、審査対象者は781名であった。所定の手続きを経て、11月15日に委員会を開催し、慎重かつ公正に審議を行った結果、業績の条件を満たしていなかった9名を不合格とし、772名を合格と判定した。この結果は理事会で承認されたので、合格者氏名は雑誌第113巻第1号に公表した。

4. 平成 23 年度指導医再選定業務について

本年度から、更新年に更新を行わなかった元指導医を対象として、失効後2年以内であれば、更新と同条件で再取得を認める制度がスタートした。

本年度の対象者は昨年度(平成22年度)失効者467名であり、所定の申請書でのみ申請を受け付けた。選定申請および更新申請同様に8月1日に申請を締め切った結果、46名からの申請があった。所定の手続

きを経て、11月15日に委員会を開催し、慎重かつ公正に審議を行った結果、業績の条件を満たしていなかった1名を不合格とし、45名を合格と判定した。この結果は理事会で承認されたので、合格者氏名は雑誌第113巻第1号に公表した。

5. その他

共通：National Clinical Database (NCD) の事業開始を踏まえ、指定施設の申請は平成26年度から、指導医の申請は平成28年度から、それぞれNCDデータの利活用を原則とすることとした(新規・更新共に)。また、東日本大震災などのために研修実績などを遺失してしまった場合の救済措置を以下のとおり公告した。

指定施設：社団法人日本専門医制評価・認定機構の要請を受け、引き続き研修施設調査に協力した。

指導医：指導医選定のための業績(=論文)は、外科学に関する内容であることを基準の一つとしているが、看護系の雑誌への掲載論文、地域連携や工学系をテーマとした論文、ディスカッションや考察の記載がない症例報告などについても、内容や体裁、参考文献の有無などを判断材料とした上で、広く認めることとした。また、平成25年度から指導医の申請期限を毎年5月31日に変更することとした(新規・更新共に)。

<公告>

外科専門医の更新、認定登録医の登録・更新、指導医の選定・更新では、それぞれ研究実績(学術集会参加)の充足が条件となりますが、東日本大震災などのために参加証が遺失してしまった場合は、申請時に「り災証明書」などの公的証明書を提出されれば勘案いたしますので、改めてこの旨通知いたします。

6. 医学用語委員会

委員長 高 見 博

1. 外科学用語集について

2003年5月に過去発刊してきた「外科的手術用語集」「外科的疾患用語集」「外科略語集」を1冊にまとめ「外科学用語集」を発刊しており、収録された用語数は英和約7,800語、和英約8,500語、略語約1,600語であり、産婦人科、整形外科、形成外科など周辺領域の用語も取り入れている。

2. 外科学用語集 Web版について

本会ホームページにて外科学用語集のWeb版を公開している。

利用状況は、毎月平均で1,400件程度のアクセスがあり、一人あたり平均8ページを閲覧している。

3. 日本医学用語辞典について

本委員会では、日本医学会より発刊されている「日本医学用語辞典」の編集も関与し、用語のチェックも行っている。

Ⅲ. 研究

7. 邦文誌編集委員会

委員長 高見 博

邦文誌（日本外科学会雑誌）について

日本外科学会雑誌は、年間9巻（通常号6巻，臨時増刊号3巻）を発行している。

1巻あたりの制作部数は約38,000部であり、今年度は第113巻第2号及び臨時増刊号(2)の抄録号を会員に配付した。

本誌の充実をめざして邦文誌編集委員会を4カ月に1度開催している。

邦文誌の内容

1. 会員より原稿を募る

症例報告，研究速報，特別寄稿，総説，随筆，提言，学会出席者の感想文，私の療養体験，会員の近況報告，私の作品（写真，絵，短歌，俳句など）

2. 原稿依頼

- a. 特集（第98巻第8号より編集委員により企画）
- b. 会員のための企画（会員に役立つような内容を企画）
毎号、「医療訴訟事例」を掲載している
- c. Editorial（編集委員が執筆）
- d. 手術の tips and pitfalls（図を中心とした手術の工夫やコツ）
- e. 卒後教育セミナーの講演要旨（第48回卒後教育セミナーより掲載）
- f. 特別寄稿（現在話題となっている内容を依頼）
昨年の第112巻は看護師の業務拡大に関する意識調査やNP/PAに関する内容で計20篇を掲載した。
- e. 会員へのメッセージ(第112巻1号より本会各委員長から一般会員へ委員会の現状を報告するための企画)

3. 掲載料金

- a. 総説，症例報告5万円
- b. 研究速報3万円
- c. 特別寄稿，随筆，提言，学会出席者の感想文，私の療養体験，会員の近況報告，私の作品(写真，絵，短歌，俳句など) 無料。枚数超過の場合は1万円
- d. 学会・研究会案内1/3頁2万円

4. 依頼原稿執筆料

会員は5万円，非会員は10万円。（特集の前文や Editorial を執筆する編集委員は無料）

なお，本誌の Quality を向上させるため英文抄録の Check を第99巻第1号より Ms. シンシア氏に1編2,250円にて依頼している。

8. 英文誌編集委員会

委員長 澤 芳 樹

英文誌 (Surgery Today) について

本誌は、年間 12 冊、電子ジャーナルを含めて約 40,000 部を発行している。平成 23 年度中に 64 ヶ国より 1,253 編の投稿原稿があった。同年発行の第 41 巻には 314 編が掲載され、平成 23 年度の採用率は 25.0% であった。

昨年度より投稿から採否決定までの期間が平均 3 ヶ月へ、また掲載までの期間は平均 11 ヶ月となっていたが、掲載までの期間を短縮するため、掲載頁を従来の 1.5 倍とした。これにより掲載までの期間は平均 6 ヶ月と短縮できた。また、オンライン・ファーストの出版を昨年 11 月から開始した。オンライン・ファーストの出版により号の出版を待たずに論文ごとの電子版の出版が可能となり、オンライン・ファーストに掲載された論文は、電子版出版は正式な出版と認められる。DOI (Digital Object Identifier) のコードにより、頁なしでも引用可能である。これにより更なる Impact factor の上昇が期待される。

代議員、編集委員による Review 執筆などの努力により Impact factor も徐々に上昇し、最新のものでは 1.118 との予想値となっている。

引用文献について

過去 4 年前からの被引用論文数を調査したところ、Vol. 38 は 123 編・Vol. 39 は 293 編・Vol. 40 は 255 編・Vol. 41 は 301 編である。

Review の引用回数は、2.24・Original の引用回数は、1.49・Case Report の引用回数は、0.65 となっている。

これらの結果から、更なる Impact factor の上昇を目指すには、Review・Original の掲載数および被引用回数の増加が必須との見解から代議員に本年も Review の執筆依頼をさせていただいた結果、50 名から執筆いただけることとなっている。今後も継続して執筆依頼をさせていただく予定である。

他誌への投稿の際に本誌の引用を奨励するために「2011 年 Surgery Today 誌の引用のご案内」をメールアドレスを登録している会員に送り、ホームページ、日本外科学会雑誌にも掲載した。

代議員の先生方には、教室の先生方が投稿される際には、本誌を引用いただくよう是非お願いしたい。

平成 18 年度研究助成委員会が廃止され、本委員会が研究奨励賞の授賞者選定を引き継ぎ行うこととなった。そして本年度授賞者を下記の如く決定させていただいた。

最後に投稿原稿数の増加とともに編集委員並びに代議員の負担も年々大きくなっており、この場を借りて厚くお礼申し上げたい。

第 18 回研究奨励賞授賞者 5 名

大北 喜基 (三重大学大学院医学系研究科消化管・小児外科学)

Neutrophil Dysfunction in Steroid-overdosed Patients with Ulcerative Colitis: Potential Relevance of Macrophage Migration Inhibitory Factor to Increased Postoperative Morbidity 41 : 1504—1511

藤田 知之 (国立循環器病研究センター心臓血管外科)

Clinical Impact of Combined Transplantation of Autologous Skeletal Myoblasts and Bone Marrow Mononuclear Cells in Patients with Severely Deteriorated Ischemic Cardiomyopathy 41 : 1029—1036

川野 大悟 (九州大学大学院消化器・総合外科学)

The Influence of Intracellular EGFR Signal Activation on the Outcome of EGFR-tyrosine Kinase Inhibitor Treatment for Pulmonary Adenocarcinoma 41 : 818—823

大矢 雄希 (熊本大学大学院生命科学研究部小児外科学分野)

Manifestations of Transthyretin-Related Familial Amyloidotic Polyneuropathy : Long-term Follow-up of Japanese Patients after Liver Transplantation 41 : 1211—1218

平崎 憲範 (順天堂大学医学部附属浦安病院外科)

Development of a novel anti-adhesive material, alginate flakes, ex vivo and in vivo 41 : 970—977

掲載原稿種別表

年次	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96
巻数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
投稿数	119	102	142	164	131	151	179	197	208	275	268	322	339	419
掲載数	95	89	83	76	87	119	116	119	120	107	206	222	211	212
採用率 (%)	79.8	87.3	58.5	46.3	66.4	78.8	64.8	60.4	57.7	38.9	76.9	68.9	62.2	50.5
Editorial	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Review	5	4	12	4	6	5	7	6	1	7	1	5	5	3
Original	75	77	50	44	47	71	59	67	67	59	107	106	101	82
Case Report	0	0	12	19	25	33	44	38	47	37	89	93	88	99
Short Communication	10	5	7	9	6	6	2	7	5	3	7	8	5	9
How to do it	3	3	1	0	3	4	1	1	0	1	2	10	12	7
Others	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	12
Impact Factor								0.21	0.223	0.188	0.163	0.118	0.171	0.209

年次	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
巻数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
投稿数	443	429	438	424	509	607	667	623	566	923	948	1099	1239	1166	1253
掲載数	245	281	271	239	247	243	214	238	216	231	235	231	220	217	314
採用率 (%)	55.3	65.5	61.9	56.4	48.5	40.0	32.1	43.9	38.2	24.8	24.8	20.9	17.8	18.6	25.0
Editorial	7	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1
Review	2	1	1	4	2	3	0	8	13	5	10	11	19	37	30
Original	120	102	100	97	86	88	76	102	102	102	75	85	74	76	108
Case Report	97	152	145	129	142	146	134	113	91	109	137	120	106	91	161
Short Communication	9	6	9	2	6	2	2	2	1	1	2	6	4	2	5
How to do it	10	11	14	7	11	4	2	13	8	10	10	5	15	7	9
Others	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	1	3	2	2	0
Impact Factor	0.233	0.303	0.379	0.356	0.480	0.501	0.528	0.553	0.478	0.698	0.679	0.804	1.050	1.057	1.118

投稿数内訳

Original	145	171	149	166	196	222	174	146	232	264	297	366	357	416
Others	284	267	275	343	411	445	449	420	671	683	807	873	809	837

Surgery Today – ScholarOne Manuscripts 論文投稿・審査状況

(2010年1月1日から2012年1月9日)

1. 投稿状況

新規投稿論文の論文種類別内訳

2011	新規投稿論文数	採択数	却下数	採択率(%)
Clinical Original	346	71	183	28.0
Case Report	739	93	539	14.7
Experimental Original	70	15	39	27.8
How to do it	46	11	25	30.6
Invited Review Article	4	4	0	100.0
Review Article	26	7	13	35.0
Short Communication	12	2	8	20.0
Letter to the Editor	10	1	7	12.5
Other	0	0	0	0.0
Total	1253	204	814	20.0

2010	新規投稿論文数	採択数	却下数	採択率(%)
Clinical Original	298	64	224	22.2
Case Report	666	112	538	17.2
Experimental Original	56	14	41	25.5
How to do it	44	14	29	32.6
Invited Review Article	11	8	0	100.0
Review Article	58	26	30	46.4
Short Communication	18	4	14	22.2
Letter to the Editor	12	0	12	0.0
Other	1	0	1	0.0
Total	1164	242	889	21.4

新規投稿論文の論文 Category 別内訳*

Category	投稿数		採択数		却下数		採択率(%)	
	2011	2010	2011	2010	2011	2010	2011	2010
Adrenal gland	18	22	2	5	15	17	11.8	22.7
Anus	17	15	4	4	11	11	26.7	26.7
Bile ducts/Gall bladder	92	77	17	21	67	53	20.2	28.4
Breast	51	48	8	6	37	39	17.8	13.3
Cardiovascular	76	95	21	29	42	62	33.3	31.9
Colon/Rectum	213	223	48	46	136	164	26.1	21.9
Esophagus	62	64	12	10	35	48	25.5	17.2
Liver	154	140	25	31	101	104	19.8	23.0
Lung/Mediastinum	137	149	24	23	96	118	20.0	16.3
Pancreas	83	90	13	20	57	64	18.6	23.8
Pediatric surgery***	19	47	3	8	11	38	21.4	17.4
Plastic surgery	49	51	3	15	40	32	7.0	31.9
Portal hypertension	17	11	0	2	10	9	0.0	18.2
Stomach/Duodenum	140	164	25	46	100	102	20.0	31.1
Thyroid/Head and neck	64	60	12	11	45	48	21.1	18.6
Vascular (peripheral/vein)	85	72	14	12	53	56	20.9	17.6
Others**	120	95	14	14	93	70	13.1	16.7

* Category を複数選んでいる場合は各 Category に含めて集計

**ジャーナル指定の 16 の Category 以外を Category として記入した投稿論文

***2010 年 1 月 15 日以降に追加された Categorys

2. 国別投稿数

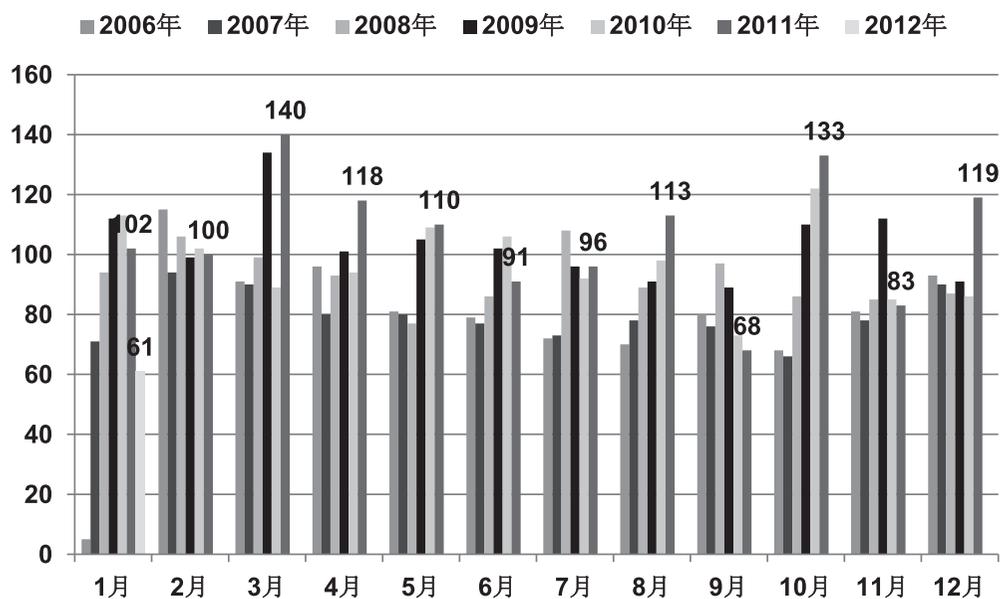
Country	2010							2011						
	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率(%)	集計	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率(%)	集計
Japan	202	220	6	20	2	47.9	450	160	216	85	25	6	42.6	492
China	8	156	1	1	1	4.9	167	11	156	35	3	7	6.6	212
Turkey	7	124				5.3	131	4	100	23	1		3.8	128
Italy	4	47				7.8	51	5	54	10	2		8.5	71
Taiwan		30			2	0.0	32	1	44	5	1	1	2.2	52
Korea, Republic of	4	31	1	1		11.4	37	7	30	6	3	5	18.9	51
United States		16				0.0	16	2	26	9	1		7.1	38
India	3	41				6.8	44	1	35	1			2.8	37
United Kingdom		19				0.0	19	1	21	2	1		4.5	25
Greece	4	38				9.5	42	1	19	2			5.0	22
Spain	1	22				4.3	23		14	1			0.0	15
Germany	1	17	1			5.6	19	2	7	4			22.2	13
France	2	6		1		25.0	9	1	7	4			12.5	12
Serbia	1	3	1			25.0	5	1	8	1			11.1	10
Croatia		14				0.0	14	1	6	2			14.3	9
Iran, Islamic Republic of		13				0.0	13	1	8				11.1	9
Egypt		3				0.0	3		6		1		0.0	7
Brazil	1	7				12.5	8	1	4	1			20.0	6
Netherlands		4				0.0	4		6				0.0	6
Malaysia		1				0.0	1		3	1			0.0	4
Canada	1	2				33.3	3		3				0.0	3
Australia		4				0.0	4		3				0.0	3
Austria							0	1	2				33.3	3
Hungary		2				0.0	2		2	1			0.0	3
Israel	1	2				33.3	3		3				0.0	3
Poland		8				0.0	8		3				0.0	3
Saudi Arabia		3				0.0	3		3				0.0	3
Singapore	1	2				33.3	3		3				0.0	3
Switzerland		3				0.0	3	1	2				33.3	3
Belgium		1				0.0	1		2				0.0	2
Chile		2				0.0	2		1	1			0.0	2
Mexico		4				0.0	4		2				0.0	2
Morocco		1				0.0	1		2				0.0	2

Country	2010							2011						
	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率(%)	集計	採択	却下	審査中	改訂中	取下げ	採択率(%)	集計
Russian Federation							0		2				0.0	2
South Africa		2				0.0	2		1			1	0.0	2
Sweden							0	1		1			100.0	2
Finland							0		1				0.0	1
Jamaica							0		1				0.0	1
Albania							0		1				0.0	1
Argentina		1				0.0	1		1				0.0	1
Cameroon							0		1				0.0	1
Czech Republic		3				0.0	3		1				0.0	1
Hong Kong		2				0.0	2			1				1
Korea, Democratic People's Republic of	1					100.0	1		1				0.0	1
Norway							0	1					100.0	1
Oman		1				0.0	1			1				1
Portugal							0		1				0.0	1
Slovakia		2				0.0	2		1				0.0	1
Thailand		1				0.0	1		1				0.0	1
Denmark		1				0.0	1							0
Bulgaria		1				0.0	1							0
Colombia		1				0.0	1							0
Cyprus		1				0.0	1							0
Ireland		1				0.0	1							0
Jordan		4				0.0	4							0
Lebanon		10				0.0	10							0
Moldova		1				0.0	1							0
Nepal		4				0.0	4							0
Nicaragua		1				0.0	1							0
Pakistan		1				0.0	1							0
Sri Lanka		1				0.0	1							0
Trinidad and Tobago		1				0.0	1							0
Tunisia		3				0.0	3							0
総計	242	889	10	23	5	21.4	1169	204	814	197	38	20	20.0	1273

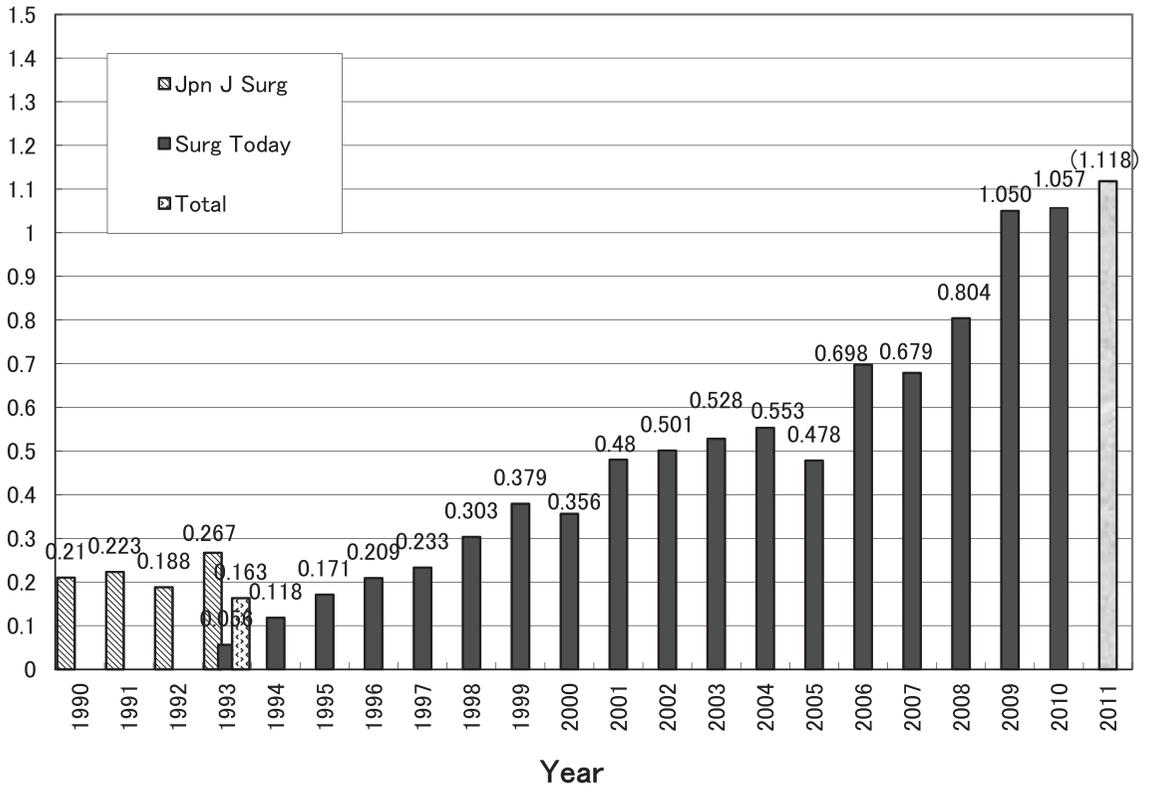
国別投稿数（アジア）

Country	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	総計
Japan	305	362	430	453	450	492	17	2509
China	34	40	76	136	167	212	13	678
Taiwan	38	48	48	43	32	52	3	264
India	33	40	32	57	44	37	3	246
Korea, Republic of	22	20	46	33	37	51	2	211
Thailand	6	5	3	4	1	1	1	21
Singapore	6	1	1	5	3	3		19
Nepal	6	5		2	4			17
Malaysia		4	2	1	1	4		12
Pakistan		1		6	1			8
Hong Kong	2		2	1	2	1		8
Korea, Democratic People's Republic of		1	1	1	1	1		5
Sri Lanka	1		1		1			3
Philippines	1							1
総計	454	527	642	742	744	854	39	4002

3. 月別投稿数の推移



ST Impact Factor



9. 臨床研究推進委員会

委員長 桑野 博行

委員会を7月5日、11月8日に開催し、臨床研究セミナーを計画するとともに、外科領域においてエビデンスに基づいた医療を実践すべく臨床研究を検討した。

1. 平成24年度厚生労働科学研究費補助金へ以下の6件を申請した（研究課題「肥満患者の消化器手術におけるSSIに対する皮下ドレーンの有用性に関する検討」、研究課題「神経内分泌腫瘍(Neuroendocrine tumor: NET)の制癌剤感受性試験」、研究課題「B型及びC型肝炎ウイルスによる慢性肝炎/肝硬変を背景に発生した肝細胞癌術後の、主要条件に応じた再発抑制療法に関する検討」、研究課題「大腸癌肝転移に対する系統切除と非系統切除の無作為化比較試験」、研究課題「腹部外科手術における静脈血栓塞栓症の症頻度とその予防に関するオープン無作為比較試験」、研究課題「消化器外科領域における周術期肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症の発生率調査」)。

なお、本委員会が推奨した臨床研究が平成21年度～平成23年度厚生労働科学研究費補助金(研究課題「初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究」)に採用され、臨床研究が終了した。

2. 平成21年度通常総会の議決を経て、同日より施行した「外科臨床研究の利益相反に関する指針」の施行に伴う各種の具体的な運用状況について検討した。

なお、指針を基にした規則(定款施行細則)の新設案(指針:VII. 指針違反者への措置と説明責任1)指針違反者への措置に明記されている「別に定める規則」に該当)については、平成23年2月日本医学会より、医学研究のCOIマネジメントに関するガイドラインが策定されたので、引き続き、具体的な運用状況や他の外科系学会との歩調等、長期的な視野に立って取り組むことにした。

3. 臨床研究セミナーの重要性を鑑み、本セミナーの参加は外科専門医制度における研修実績(5単位)となる。

下記の如く臨床研究セミナーを4月14日に開催予定である。

第9回臨床研究セミナー

日時：平成24年4月14日(土) 8:30～11:30

(第112回日本外科学会定期学術集会3日目)

場所：幕張メッセ(国際会議場)2階 コンベンションホールB

【プログラム】

開会の挨拶 桑野 博行 群馬大学大学院病態総合外科学
(臨床研究推進委員会委員長)

第1部 臨床研究の基礎講座

司会：赤澤 宏平 新潟大学医療情報部
山中 竹春 国立がん研究センター東病院臨床開発センター

1：臨床試験における統計的デザイン

手良向 聡 京都大学医学部附属病院探索医療センター検証部

2：手術支援ロボットの開発

橋爪 誠 九州大学先端医療医学

第2部 外科臨床研究の実践

司会：國土 典宏 東京大学肝胆膵・人工臓器移植外科

吉田 和弘 岐阜大学腫瘍外科

1：わが国における臨床試験の現状

1) わが国における肺癌臨床試験の現状

光富 徹哉 愛知県がんセンター中央病院胸部外科

2) わが国における肝胆膵領域の臨床試験の現状

小菅 智男 国立がん研究センター中央病院肝胆膵外科

2：厚生労働科学研究費研究事業の報告

消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行
群間無作為化比較試験

江見 泰徳 九州大学消化器・総合外科

第3部 外科における臨床研究の推進とエビデンスの発信

澤 芳樹 大阪大学大学院心臓血管外科学

(英文誌編集委員会委員長)

特別発言

北村惣一郎 国立循環器病センター

閉会の挨拶

國土 典宏 東京大学肝胆膵・人工臓器移植外科

(臨床研究推進委員会副委員長)

1) 利益相反委員会

委員長 桑野 博行

本委員会は外科臨床研究の利益相反に関する指針にもとづき、臨床研究推進委員会のもとに新たに平成21年度新設された委員会である。

本委員会は、指針に基づき、役員等から提出された利益相反自己申告書の管理、利益相反自己申告書に対して、疑義もしくは社会的・法的問題が生じた場合の対応等を目的としている。

委員会を7月5日、11月8日に開催し、本委員会の目的の確認、提出された利益相反自己申告書を検討した。なお、役員等の利益相反自己申告書対象154名中152名から提出され、特に問題が生じるものはなかった。

なお、役員等の利益相反自己申告書は外科学会事務所に厳重に管理している。